



広島市議会議員  
母谷たつり

謹啓 春の訪れを感じさせる柔らかな風にやがて来る薫風に思いをいたします。

今年つつがなの冬は例年に比べ底冷えと雪の多い厳しい冬となりましたが、皆様におかれましては恙無くお過ごしのことと拝察いたします。

私は、改選後の令和5年5月に行われた議長選挙で第80代広島市議会議長に指名され、広島市議会議長会の会長にも就任いたしました。

その直後に行われたG7広島サミット（令和5年5月19日～21日）では広島空港やホテル等での各国首脳のお出迎え、お見送りなどを含む接遇の役割を拝命しました。令和6年には赤坂御苑で行われた春の園遊会（令和6年4月22日～23日）へお招きいただき、各界各層の皆様と喜びを共にする機会に恵まれ、この上ない誉となりました。

天皇陛下、皇后陛下による広島への行幸啓（令和7年6月19日～20日）では随従の役割を賜り両陛下の間近で拝謁、ご挨拶させていただくなど広島県市議会議長会を代表して多くの経験、体験を積ませていただくことができました。平和記念資料館（中区）では予定の時間を大幅に超えて視察され、たびたび質問されるなどご熱心さに驚きと喜びを感じました。広島市豪雨災害伝承館（安佐南区）では未曾有の災害に直面し、肉親を亡くされた被災者のお話を寄り添いながら真剣に耳を傾けられ、矢野おりづる園の慰問ではひとり一人に声を掛けて健康を気遣っておられ、入所者の皆さんは大変勇気づけられたご様子を目の当たりにいたしました。

また年明けには、突如として高市早苗総理による衆議院解散が叫ばれ1月23日には総選挙が公示される事態になりました。選挙結果は自民党の大勝となりましたが、高市旋風に加えて直前に中道改革連合という新しい政党が誕生したことで有権者にとっては判断に苦慮する分りにくい選挙になったのではないかと考えています。

高市内閣では政策本位、制度改革などの論戦で目や耳を覆いたくなるような光景から新しい時代の新しい政治を展開し、国民の信頼と負託に応える国会であってほしいと思います。

謹白



本会議で総括質問する（2月18日）



宮内庁職員10名他と慰霊碑へ向かう

## 令和8年2月定例会 第39号議案 広島市子ども医療費補助条例の一部を改正する条例

### ① 改正の理由

子どもの医療に係る保護者の経済的負担を軽減するため。

### ② 改正の内容

(ア) 子どもの医療に係る保護者の負担を軽減することにより子どもの健やかな成長を図るため補助対象者である**保護者の所得制限を廃止**する。

(イ) 補助対象者である保護者が監護する子どもの範囲を次のように改める。

現行	改正
中学校第3学年まで	高校生年代まで

### ③ 施行時期

令和9年1月1日から施行、同日以降に行われる診察等に係る医療費の補助について適用する。



# 松井市長 5選見据え布石か

## 広島市 4期目任期残り1年余り

### 「ハード偏重」から刷新 子育て支援強化

広島市の松井一実市長は、来年4月の4期目の任期満了まで残り1年余りとなった。最後の本格編成となった2026年度当初予算案では、「ハード偏重」との指摘もあつたイメージを刷新。子育て支援の強化にかじを切った。その背景を探ると、5選を見据え、布石を打とうとする松井市長や周辺の思いが見えてきた。

(樋口浩一)

2月中旬、市議会議場。別の市議はつぶやいた。松井市長はこう宣言した。「ハード面のまらちつくりは相当進んだ。これからはソフト面をしっかりとやりたい」。母谷龍典前議長に市政運営への姿勢を問われ、子ども医療費の補助拡充や小学校の給食無償化などについて、予算を配分した「理由」を説いた形。議場を出た

#### 松井市長の4期目の主な事業

ハード	ソフト (いずれも2026年2月提案の予算案から)
エディオンピースウイング広島開業	子ども医療費の補助拡充
広島城三の丸歴史館の着工	小学校給食の完全無償化
JR広島駅南口広場の再整備(継続事業)	小中高校の体育館の暑さ対策
アストラムライン西風新都線延伸手続き(同)	放課後児童クラブの利用料金引き下げ

「これからはソフト面をしっかりとやりたい」  
※26年2月18日、市議会本会議での市長の発言

広島市議会の総括質問で子育て支援への思いを語る松井市長(手前)(2月18日)



口広場(南区)の再整備をはじめ、市長が注力してきたハード事業は着実に形になってきた。一方、24年度の市民意識調査。

「子育てしやすいまちだ」と思つたと答えた人は37.9%にとどまった。市長が統投を目指すには「ソフト施策という弱みを補う必要があつた」とある幹部は言う。市は4月以降、放課後児童クラブの料金引き下げや小中高校の体育館の暑さ対策も続々と進める。

#### 湯崎氏を意識か

市長の転換を加速させたと目される要因が、もう一つある。湯崎英彦前

広島県知事の退任だ。かねて平和分野の発信に意欲的な湯崎氏。「ゴールは被爆地・広島市の市長では」との見方は以前から庁内にあつた。昨年8月の退任表明後、「次の市長選に出てくる」との観測が一気に広がった。

湯崎氏を推してきた自民党県連の動向だ。知事選で湯崎氏も2度、推薦している。

松井市長は、湯崎氏の「知事5選」を想定していた向きがある。「昨夏以降、子育て支援策の検討を加速させた。湯崎さんの出馬を警戒したので」とみる幹部もいる。当の湯崎氏。退任時、市長選への立候補を否定せず、今も市内に事務所を構える。ただ選挙に向けた動きを見せてはいない。当面の焦点となりそうなのは、過去4度の市長選で一貫して松井氏を推してきた自民党県連の動向だ。知事選で湯崎氏も2度、推薦している。

#### 保守分裂の過去

ある党県連重鎮は「松井さんに失政はない」と強調する。念頭には県連内の議員が分裂し、旧社会党など野党系候補が勝利した「苦い過去」もあるという。「松井さん本人がやると言えはばしらすも動く」と言い切る。もう一つ注目されるの

©中国新聞社 無断転載、複製および頒布は禁止します。

母谷たつりの2月定例会2月18日の総括質問 市議会ホームページ⇒議会録画中継 総括質問(2月18日)

あなたの声を聞かせてください。いい汗流そう! いい笑顔つくろう!

**母谷たつりのり**

〒731-5114 広島市佐伯区美鈴が丘西2丁目11番1号  
http://www.motani.jp



もたにたつりのり 検索

TEL.929-9002 FAX.927-7080 e-mail: info@motani.jp